



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話：048-756-0254

FAX：048-758-7483

HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>Mail：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp

「謙虚に耳を傾ける」

校長 小林 成行

早いもので、本年度最後の月となりました。来月になれば1, 2年生はそれぞれ進級します。また、3年生は今月の15日の卒業式を経て、新たな進路に向かって歩みだします。皆さんは、この1年間を振り返ると、どうでしたか？「反省なくして、前進なし。」と言われます。しっかりと自分自身を見つめ直し、次年度さらに自分をステップアップさせてください。



話は変わりますが、昔（まだ車のナビが無かった頃）ある雑誌の投稿欄を読んで大変感動させられた記事がありました。皆さんに紹介したいと思います。

茨城県のある町で、製材業を営んでいるAさんという社長さんがいます。群馬県方面へ所用のため、車で出かけたある日のことです。不慣れな道で、道に迷ってしまい、どうしても目的地へ行けません。大変困ってうろうろしていると、たまたま、その近くの道路沿いの畑で一生懸命農作業をしているおじいさんを見かけました。Aさんは、さっそくおじいさんに「すみません、ちょっとお尋ねしたいのですが……」と、運転席から声をかけました。ところが、このおじいさん、じっとAさんの顔を見つめていて、何にも答えてくれないのです。この様子から察してAさんは、（これは、きっと耳が遠いのだな）と思いました。前よりずっと大声を張り上げて、「すみません、ちょっとお尋ねしたいのですが……」と再び尋ねました。すると、おじいさんは静かな声で、「俺ア、耳は遠くねえよ。旦那さん、他人に道を尋ねるときには、帽子ぐらい取ったらどうだねえ。」と諭すように言いました。Aさんは、あわてて帽子を取ったのですが、普段「今どきの若い者は、礼儀を知らない。マナーに反した行為を平気でやっている。」と言っていた自分が恥ずかしいやら、情けないやらで、複雑な気持ちになってうろたえてしまいました。気を取り直したAさんは、帽子を取り、車から降りて、さっきの無礼をわび、改めて、丁寧に道を尋ねました。おじいさんは何事もなかったように、丁寧に教えてくれました。Aさんはこのことを友人に、「この言葉は、本当にありがたく身に染みました。以来、人に道や物を尋ねるときには、必ず帽子を取るようになっているんです。」……と話しました。



さて、皆さんはどう感じましたか。おじいさんの勇気も立派、それにもまして、それを感謝で受け止めて、非を改めた社長さんの素直さも立派だと感じさせられました。まさに謙虚に耳を傾ける姿の大切さ、美しさに感動です。何か大切な物をいただいたような気がして、その日は一日、さわやかな気分になりました。数年たった今でも、この社長さんの話が心に残っています。